

大林グループ((株)大林組、(株)内外テクノス、大林新星和不動産(株)) × 国 (農林水産省、経済産業省、環境省)

『中高層木造・木質化建築等の促進を通じた、森林共生都市の実現及び循環型森林利用の推進に資する、建築物木材利用促進協定』



大林グループは、循環型社会の形成に向けた森林と共に生きるまち「森林共生都市LOOP50®」の普及、日本初の純木造耐火高層建築Port Plusで培った技術を突き進め、木造の可能性を拡げること等を構想の柱とし、建設事業者として木造・木質化の推進（2026年度末までに、5件の木造・木質化建築の実現、9,000m³の木材利用を目標）や、建築事業主として木材の積極的な活用の検討（2026年度末までに、2件の木造・木質化建築の実現、1,300m³の木材利用を目標）、地域の森林資源の持続可能性と両立した木材のマテリアル（素材）利用・エネルギー利用を促進するまちづくり・地域創生への取組、建築物の省エネ等の積極的な推進に向けた建築主に対するZEB提案の推進等を内容とする協定を、農林水産省、経済産業省、環境省と締結。

協定締結日：令和5年2月3日

有効期間：協定締結日～令和9年3月末

対象区域：全国